

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月28日更新

事務事業名		外国人登録事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	市民部
	施策	25	行政改革の推進		所属課	市民課
	基本事業	87	市民サービスの向上		所属班	市民窓口班
予算科目	会計一般	款 2	項 3	目 1	事業連番 11089	法令根拠 外国人登録法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)
成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・本邦在留外国人の居住関係と身分関係を明確にすることによって、在留外国人を公正に管理する。・法律による(昭和27年外国人登録法に基づき実施。)
【業務の流れ】	①受付②内容審査③外国人登録記載事項証明書発行④申請書等整理(1年保管)、入国管理局への調製依頼、報告、照会。原票の作成。転出入外国人の原票を市町村間で送付。原票等整理。
【主な予算費目】	①需用費(消耗品費)②役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	市内在住の外国人の居住関係・在留資格等を正確に管理し、外国人登録事務を適正に行った。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 7月に実施される住民基本台帳法改正に伴い、住民基本台帳事務事業へ統合。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件	予算の主な増減の理由
→ア:証明書発行件数	件	住民基本台帳法改正に伴う外国人登録事務システム構築委託料の減
→イ:登録申請件数	件	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市内在住の外国人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)人
		→ア:市内在住外国人
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市内在住の外国人の居住関係、在留資格等を明確にする。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)%
		→ア:外国人登録事務を適正に処理した割合
		→イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
適正に処理することにより安心して安全な住み良いまちづくりにつながる。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	件	117	88	72	84	72			
	イ	件	165	108	218	167	218			
②対象指標	ア	人	138	138	150	130	150			
	イ									
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100			
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	43		30	16	64		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円		57	480	94			
		(A)事業費計	千円	43	57	510	110	64		
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0		
		正規職員従事人数	人	6	7	6	9	6		
延べ業務時間	時間	381	255	381	275	381				
(B)人件費計	千円	1,516	1,050	1,569	1,110	1,569				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,559	1,107	2,079	1,220	1,633				

事務事業名	外国人登録事務事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 適正に処理することができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 法律に基づき適正に処理することにより達成することができる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 届出に基づき、正確に登録、管理がされている。成果指標を適正に処理した割合に変更した。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 外国人を公証する事務ではあるが、平成24年7月の住基法改正に伴い、平成25年度に住民基本台帳事務事業に統合予定である。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 法的事務を実施するための経費であり、削減できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 専門性の知識が要求される事務であり、正確且つ迅速に事務を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市内在住外国人に平等に公平・公正な対応を行っている。・証明手数料は手数料条例に基づいており、適正と思われる。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 国からの法定受託事務のため、行政外に移行するのは適正ではない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

外国人登録法に基づき適正に事務を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					